

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年7月28日 (2016.7.28)

【公表番号】特表2016-517327(P2016-517327A)

【公表日】平成28年6月16日 (2016.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-036

【出願番号】特願2016-502749(P2016-502749)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/36 (2006.01)

A 6 1 N 1/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/36

A 6 1 N 1/08

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月27日 (2016.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータが実施する臨床データ出力方法であって、
埋込み式リード線の電極を用いて行われた解剖学的組織の 1 つ又は 2 つ以上の刺激の臨床効果の記憶データのうちの少なくとも 1 つの部分セットに基づいて、複数の図形マークをコンピュータプロセッサによって生成し且つ出力するステップを含み、

臨床効果は、第 1 の臨床効果及び第 2 の臨床効果を含み、

前記複数の図形マークは、前記図形マークの各々をグラフの座標のところにプロットすることによって、前記記憶データのうちの前記少なくとも 1 つの部分セットを表し、

前記図形マークの各々は、前記記憶データのうちの前記少なくとも 1 つの部分セットの一部分を表し、1 つ又は 2 つ以上の刺激を行う少なくとも 2 つのパラメータの各々の値のセットと関連して出力され、

前記図形マークの各々は、第 1 の臨床効果における臨床効果の種類又は第 1 の臨床効果のスコアに対応する中心領域と、第 2 の臨床効果における臨床効果の種類又は第 2 の臨床効果のスコアに対応する境界部とを含む、方法。

【請求項 2】

臨床効果の前記記憶データは、前記埋込み式リード線を制御する刺激装置又は前記埋込み式リード線に記憶される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記グラフは、前記少なくとも 2 つのパラメータのうちの第 1 のパラメータの値に対応する第 1 の軸と、前記少なくとも 2 つのパラメータのうちの第 2 のパラメータの値に対応する第 2 の軸とを含み、

前記値のセットとの関連は、前記図形マークがプロットされる位置を介して行われる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 1 のパラメータは、リード線の位置であり、前記第 2 のパラメータは、刺激振幅である、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記図形マークの各々は選択可能であり、

更に、前記図形マークのうちの１つの選択に応答して、文字による詳細を前記コンピュータプロセッサによって表示するステップを含み、前記文字による詳細は、選択された前記図形マークを生成する基礎となる臨床効果の前記記憶データから得られる、請求項３に記載の方法。

【請求項６】

前記図形マークの各々は選択可能であり、

更に、臨床効果の複数の詳細インジケータを前記コンピュータプロセッサによって表示するステップを含み、前記複数の詳細インジケータの各々は、臨床効果の種類及び臨床効果の度合いの一方に対応し、

更に、前記図形マークのうちの１つの選択に応答して、選択された前記図形マークと関連した臨床効果の詳細インジケータの図形マークを前記コンピュータプロセッサによって選択的に強調表示するステップを含む、請求項３に記載の方法。

【請求項７】

更に、臨床効果の前記複数の詳細インジケータのうちの１つのユーザによる選択に応答して、現在選択されている刺激プログラムの刺激パラメータと関連した臨床効果の新しいデータを記録するステップと、

現在選択されている刺激プログラムの刺激パラメータに対応する座標の１つのところの図形マークを更新し又は生成するステップを含む、請求項６に記載の方法。

【請求項８】

前記グラフの座標は選択可能であり、

更に、前記コンピュータプロセッサによって、且つ、前記グラフの座標の１つの選択に基づいて、刺激装置をプログラミングするステップを含み、プログラミングは、選択された座標に対応する第１のパラメータ及び第２のパラメータの値を使用して、前記埋込み式リード線を作動させて解剖学的組織を刺激するように行われる、請求項３に記載の方法。

【請求項９】

更に、前記コンピュータプロセッサによって、且つ、プログラミングモードにある時の図形マークの１つの選択に基づいて、刺激装置をプログラミングするステップを含み、プログラミングは、選択された図形マークに対応する第１のパラメータ及び第２のパラメータを使用して、前記埋込み式リード線を作動させて解剖学的組織を刺激するように行われる、請求項１に記載の方法。

【請求項１０】

前記第１の臨床効果は、治療効果であり、前記第２の臨床効果は、副作用である、請求項１に記載の方法。

【請求項１１】

前記図形マークの中心領域の図形特性は、前記図形マークが関連する値のセットに関連する第１の臨床効果に基づくスコアに従って設定され、

前記図形マークの境界部の図形特性は、前記図形マークが関連する値のセットに関連する第２の臨床効果に基づいて計算されたスコアに従って設定される、請求項１に記載の方法。

【請求項１２】

前記中心領域は、第１の色で表示され、前記境界部は、第１の色と異なる第２の色で表示される、請求項１に記載の方法。

【請求項１３】

前記第１の色及び前記第２の色の透明度はそれぞれ、第１の臨床効果及び第２の臨床効果と関連したスコアに基づいて変化する、請求項１２に記載の方法。

【請求項１４】

請求項１～１３のいずれか１項に記載の方法を実行するように構成されたプロセッサを備える、コンピュータシステム。

【請求項１５】

コンピュータプロセッサによって実行可能な指示が記憶された非一時的コンピュータ可読媒体であって、

前記指示をコンピュータプロセッサによって実行したとき、前記指示により、前記コンピュータプロセッサは、請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の方法を実行する、非一時的コンピュータ可読媒体。